

議案第3号

第3次金沢交通戦略 変更（案）について

第3次金沢交通戦略にて掲げる目指す姿の実現に向け、国庫補助の最大限の活用により各施策を推進するため、上記戦略の一部を変更する。

（変更内容）

- ・国庫補助の活用が想定される各施策の文末に（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）を追記

第3次金沢交通戦略 新旧対照表

改正案

現行

第3次 **金沢交通戦略**

[都市・地域総合交通戦略/地域公共交通計画]

第3次 **金沢交通戦略**

[都市・地域総合交通戦略/地域公共交通計画]



A. 公共交通重要路線の定時性の確保

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定時性の確保のため、都心軸におけるバス専用レーンの終日化に向けた交通実験の検討とともに、都心軸以外では、現在の交通状況に応じた必要な見直しについても検討するなど、バス専用レーンの適切な運用を関係機関と連携しながら検討します。 ・郊外部での渋滞緩和に向け、主要道路におけるピンポイント渋滞対策（交差点改良等）やパーク・アンド・ライドのさらなる推進を図ります。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	強化・合理化に向けた交通実験の実施				
取組内容	継続的な実施・改善				

B. 乗継環境の整備・充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通重要路線に指定される駅・バス停において、シェアサイクルやタクシー、地域運営交通、パーク・アンド・ライド駐車場などを合わせた接続・乗継拠点となるモビリティハブの整備を推進します（詳細は2-(3)参照）。 ・利用者の多いバス停などでは、十分な上屋を持ち、わかりやすい行先・経路案内など、必要な情報を入手できるスマートバス停やシェルター・ベンチなどの整備やバリアフリー化を進め、バス待ち環境の向上を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	モビリティハブの整備、継続的な乗継環境の改善				

A. 公共交通重要路線の定時性の確保

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定時性の確保のため、都心軸におけるバス専用レーンの終日化に向けた交通実験の検討とともに、都心軸以外では、現在の交通状況に応じた必要な見直しについても検討するなど、バス専用レーンの適切な運用を関係機関と連携しながら検討します。 ・郊外部での渋滞緩和に向け、主要道路におけるピンポイント渋滞対策（交差点改良等）やパーク・アンド・ライドのさらなる推進を図ります。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	強化・合理化に向けた交通実験の実施				
取組内容	継続的な実施・改善				

B. 乗継環境の整備・充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通重要路線に指定される駅・バス停において、シェアサイクルやタクシー、地域運営交通、パーク・アンド・ライド駐車場などを合わせた接続・乗継拠点となるモビリティハブの整備を推進します（詳細は2-(3)参照）。 ・利用者の多いバス停などでは、十分な上屋を持ち、わかりやすい行先・経路案内など、必要な情報を入手できるスマートバス停やシェルター・ベンチなどの整備やバリアフリー化を進め、バス待ち環境の向上を図ります。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	モビリティハブの整備、継続的な乗継環境の改善				

A. 北陸鉄道線の大量輸送機関としての機能維持

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北陸鉄道線（石川線・浅野川線）の大量輸送機関としての公共交通は、地域にとって今後も必要であり、北陸鉄道から要望のあった上下分離方式の導入も含め、行政として何らかの対応策を検討する必要があります。鉄道線（石川線・浅野川線）の存続のほか、特に輸送人員の減少している石川線については、バス転換やBRT化などの選択肢も検討します。 なお、整備に当たっては国の補助事業（上ト分離方式の導入：鉄道事業再構築事業、BRT化：道路運送高度化事業、サービス面の改善：地域公共交通利便増進事業等）の活用を想定し、県や沿線市町、交通事業者などと連携し、具体的方針を検討します。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	鉄道のあり方検討 大量輸送機関としての機能維持				

B. 安全運行を確保するための施設・設備の維持・整備

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道の大きな使命である安全及び安定運行の確保のため、引き続き設備投資を支援します。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	国、県、沿線市町と連携し、安全性及び安定運行を継続確保				

C. 他の交通モードとの連携強化による利用促進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 石川線・浅野川線と各種路線バス・鉄道間の乗継抵抗を軽減するため、ダイヤ調整や乗継割引の拡充を行います。また、他の交通機関と連携強化を図り、石川中央都市圏地域公共交通協議会での検討状況も踏まえ、JR線やバスなどとの乗継が必要な方の利便性を高めるための取組のあり方についても検討します。 金沢Ma a Sの取組を推進し、鉄道・路線バス・シェアサイクルなどの交通モードを横断した1日フリー乗車券等の発行など、利便性向上を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 石川線・浅野川線の利用促進に向け、駅周辺におけるパーク・アンド・ライド駐車場やサイクル・アンド・ライド駐輪場、シェアサイクルポートの整備を官民連携で推進します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 全国共通交通系ICカードやクレジットカード決済、二次元コード決済などのキャッシュレス化について、新たなサービスの動向も踏まえ検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、駐車場提供者、パーク・アンド・ライド利用者等				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	路線バス・鉄道等との連携検討 P&R駐車場の整備 キャッシュレス化の検討 利用促進策の充実				

A. 北陸鉄道線の大量輸送機関としての機能維持

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北陸鉄道線（石川線・浅野川線）の大量輸送機関としての公共交通は、地域にとって今後も必要であり、北陸鉄道から要望のあった上下分離方式の導入も含め、行政として何らかの対応策を検討する必要があります。鉄道線（石川線・浅野川線）の存続のほか、特に輸送人員の減少している石川線については、バス転換やBRT化などの選択肢も検討します。 なお、整備に当たっては国の補助事業（上下分離方式の導入：鉄道事業再構築事業、BRT化：道路運送高度化事業、サービス面の改善：地域公共交通利便増進事業等）の活用を想定し、県や沿線市町、交通事業者などと連携し、具体的方針を検討します。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	鉄道のあり方検討 大量輸送機関としての機能維持				

B. 安全運行を確保するための施設・設備の維持・整備

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道の大きな使命である安全及び安定運行の確保のため、引き続き設備投資を支援します。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	国、県、沿線市町と連携し、安全性及び安定運行を継続確保				

C. 他の交通モードとの連携強化による利用促進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 石川線・浅野川線と各種路線バス・鉄道間の乗継抵抗を軽減するため、ダイヤ調整や乗継割引の拡充を行います。また、他の交通機関と連携強化を図り、石川中央都市圏地域公共交通協議会での検討状況も踏まえ、JR線やバスなどとの乗継が必要な方の利便性を高めるための取組のあり方についても検討します。 金沢Ma a Sの取組を推進し、鉄道・路線バス・シェアサイクルなどの交通モードを横断した1日フリー乗車券等の発行など、利便性向上を図ります。 石川線・浅野川線の利用促進に向け、駅周辺におけるパーク・アンド・ライド駐車場やサイクル・アンド・ライド駐輪場、シェアサイクルポートの整備を官民連携で推進します。 全国共通交通系ICカードやクレジットカード決済、二次元コード決済などのキャッシュレス化について、新たなサービスの動向も踏まえ検討します。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、駐車場提供者、パーク・アンド・ライド利用者等				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	路線バス・鉄道等との連携検討 P&R駐車場の整備 キャッシュレス化の検討 利用促進策の充実				

A. 利用者の運賃負担の軽減や企画乗車券の発行などによるサービス向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運行支援基金を活用した乗継割引制度により、利用者の運賃負担を軽減し、サービス向上に継続して取り組みます。 ・さらなる鉄道の利用促進のため、関係者連携のもとで、利用者ニーズに即した企画乗車券（1日フリー切符や記念切符、北陸鉄道線等と連携した乗車券等）の販売も検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
	取組の充実				

B. パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進に向け、沿線市町と連携した情報発信を行うとともに、企業等に対してパーク・アンド・ライドを利用したエコ通勤への転換を働きかけます。 ・パーク・アンド・ライド駐車場の利用や他の交通モードとの連携促進などにより、利便性向上を図ります。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
	取組の実施・充実				

A. 利用者の運賃負担の軽減や企画乗車券の発行などによるサービス向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運行支援基金を活用した乗継割引制度により、利用者の運賃負担を軽減し、サービス向上に継続して取り組みます。 ・さらなる鉄道の利用促進のため、関係者連携のもとで、利用者ニーズに即した企画乗車券（1日フリー切符や記念切符、北陸鉄道線等と連携した乗車券等）の販売も検討します。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
	取組の充実				

B. パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進に向け、沿線市町と連携した情報発信を行うとともに、企業等に対してパーク・アンド・ライドを利用したエコ通勤への転換を働きかけます。 ・パーク・アンド・ライド駐車場の利用や他の交通モードとの連携促進などにより、利便性向上を図ります。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
	取組の実施・充実				

D. 沿道施設と連携したバス待ち環境の向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都心軸を中心として、バス車両や停留所などをトータルデザインし、沿道施設の土地利用とも連携しながら、悪天候時も安心して利用できる環境整備を検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 ・バスベイの効果的な配置やバリアレス縁石等の導入を検討し、乗降の円滑化や安全性を確保します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 ・鉄道や路線バス、シェアサイクル、タクシーなどの他の公共交通やパーク・アンド・ライド駐車場等との接続を強化するため、モビリティハブの整備を推進します（詳細は2-(3)参照）。 				
	実施主体 行政、交通事業者（バス、タクシー、シェアサイクル）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組内容	デザインや整備方法の検討		順次整備の実施		

E. キャッシュレス化の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国共通交通系ICカードやクレジットカード決済、二次元コード決済などによるキャッシュレス化や、地域連携ICカードなどの新たなサービスの動向も踏まえた利便性向上を検討していきます（詳細は2-(1)参照）。 ・一定期間、定額料金で気軽に公共交通が利用できるサブスクリプションの導入を検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組内容	導入方針の検討		「のりまっし金沢」の充実、キャッシュレス化の推進		

D. 沿道施設と連携したバス待ち環境の向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都心軸を中心として、バス車両や停留所などをトータルデザインし、沿道施設の土地利用とも連携しながら、悪天候時も安心して利用できる環境整備を検討します。 ・バスベイの効果的な配置やバリアレス縁石等の導入を検討し、乗降の円滑化や安全性を確保します。 ・鉄道や路線バス、シェアサイクル、タクシーなどの他の公共交通やパーク・アンド・ライド駐車場等との接続を強化するため、モビリティハブの整備を推進します（詳細は2-(3)参照）。 				
	実施主体 行政、交通事業者（バス、タクシー、シェアサイクル）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組内容	デザインや整備方法の検討		順次整備の実施		

E. キャッシュレス化の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国共通交通系ICカードやクレジットカード決済、二次元コード決済などによるキャッシュレス化や、地域連携ICカードなどの新たなサービスの動向も踏まえた利便性向上を検討していきます（詳細は2-(1)参照）。 ・一定期間、定額料金で気軽に公共交通が利用できるサブスクリプションの導入を検討します。 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組内容	導入方針の検討		「のりまっし金沢」の充実、キャッシュレス化の推進		

A. 金沢Ma a Sコンソーシアムの活動推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性向上のため幅広い関係者間で連携強化を図りつつ、データに基づく効果的な交通まちづくりを推進します。 交通情報とともに目的地周辺の観光情報の提供や、店舗情報やクーポンの発行など、商業・観光分野等の多分野との連携により、公共交通の利用促進にとどまらず、まちの賑わい創出にも取り組みます。 				
	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル） Ma a S関連企業				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	関係機関の連携強化と取組の拡充機能拡充の方針検討		連携の推進（商業・観光等）		

B. キャッシュレス化の推進【再掲】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 全国公共交通系ICカードやクレジットカード決済、二次元コード決済などによるキャッシュレス化について、新たなサービスの動向も踏まえ、交通事業者と連携し総合的に検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 定額運賃（サブスクリプション）も活用しながら、気軽に様々な公共交通を利用できる環境整備を図ります。 				
	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	導入方針の検討		「のりまっし金沢」の充実、キャッシュレス化の推進		

C. G T F S※データ及びオープンデータ化の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表データ等のG T F S化やオープンデータ化により、スマートフォン等からリアルタイムで確認できるバスロケーションシステムの拡大等を図り、様々な交通モード間の乗継や、経路検索がよりスムーズに行えるような環境を整備します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 デジタル交通サービス「のりまっし金沢」について、パーク・アンド・ライドやシェアサイクル等の情報を含んだ機能拡充を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
	行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、経路検索事業者				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	導入方針の検討				

※G T F S: General Transit Feed Specificationの略 経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的としてアメリカで策定された世界標準のデータフォーマット

A. 金沢Ma a Sコンソーシアムの活動推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性向上のため幅広い関係者間で連携強化を図りつつ、データに基づく効果的な交通まちづくりを推進します。 交通情報とともに目的地周辺の観光情報の提供や、店舗情報やクーポンの発行など、商業・観光分野等の多分野との連携により、公共交通の利用促進にとどまらず、まちの賑わい創出にも取り組みます。 				
	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル） Ma a S関連企業				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	関係機関の連携強化と取組の拡充機能拡充の方針検討		連携の推進（商業・観光等）		

B. キャッシュレス化の推進【再掲】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 全国公共交通系ICカードやクレジットカード決済、二次元コード決済などによるキャッシュレス化について、新たなサービスの動向も踏まえ、交通事業者と連携し総合的に検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 定額運賃（サブスクリプション）も活用しながら、気軽に様々な公共交通を利用できる環境整備を図ります。 				
	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	導入方針の検討		「のりまっし金沢」の充実、キャッシュレス化の推進		

C. G T F S※データ及びオープンデータ化の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表データ等のG T F S化やオープンデータ化により、スマートフォン等からリアルタイムで確認できるバスロケーションシステムの拡大等を図り、様々な交通モード間の乗継や、経路検索がよりスムーズに行えるような環境を整備します。 デジタル交通サービス「のりまっし金沢」について、パーク・アンド・ライドやシェアサイクル等の情報を含んだ機能拡充を図ります。 				
	行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、経路検索事業者				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	導入方針の検討				

※G T F S: General Transit Feed Specificationの略 経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的としてアメリカで策定された世界標準のデータフォーマット

A. モビリティハブの整備

取組内容	・まちなかや公共交通重要路線を中心として、バス、鉄道、シェアサイクル、タクシー、パーク・アンド・ライド（自家用車）などの多様な交通モードとの接続・乗継拠点となるモビリティハブについて、地域の実情に応じた整備を推進します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。				
実施主体	行政、交通事業者（バス、タクシー、シェアサイクル）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	導入箇所・方法の検討		順次整備の実施		

B. 鉄道駅とその周辺における機能充実

取組内容	・駅や周辺のバリアフリー化等の機能向上に取り組みます。 ・他の交通手段との連携を強化するため、パーク・アンド・ライド駐車場やサイクル・アンド・ライド駐車場の整備を推進します。【再掲】				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	デザインや整備方法の検討		順次整備の実施		

C. 都心軸沿道バス停等における重点的な環境整備

取組内容	・新しい交通システム（第1段階）の導入に合わせ、都心軸のバス停などを中心として、車両・バス停等を一体的にデザインし、木の文化都市としての近代的な都市空間の形成を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 ・バス停の整備に当たっては、沿道施設の土地利用と連携し、悪天候時でも安心して快適に利用できる待合環境の充実や観光等の案内機能の向上を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。				
実施主体	行政、交通事業者（バス）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	デザインや整備方法の検討		順次整備の実施		

D. 主要なバス停におけるバス待ち環境の整備

取組内容	・利用者の多い主要なバス停や公共交通重要路線沿線のバス停などでは、待合環境改善のため、スマートバス停やシェルター・ベンチ・案内装置等を計画的に整備・更新します。また、木の文化都市として、ベンチや上屋などには地元産材を利用した、ぬくもりとコミュニケーションが促進される環境を目指します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。				
実施主体	行政、交通事業者（バス）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	順次整備の実施				

A. モビリティハブの整備

取組内容	・まちなかや公共交通重要路線を中心として、バス、鉄道、シェアサイクル、タクシー、パーク・アンド・ライド（自家用車）などの多様な交通モードとの接続・乗継拠点となるモビリティハブについて、地域の実情に応じた整備を推進します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。				
実施主体	行政、交通事業者（バス、タクシー、シェアサイクル）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	導入箇所・方法の検討		順次整備の実施		

B. 鉄道駅とその周辺における機能充実

取組内容	・駅や周辺のバリアフリー化等の機能向上に取り組みます。 ・他の交通手段との連携を強化するため、パーク・アンド・ライド駐車場やサイクル・アンド・ライド駐車場の整備を推進します。【再掲】				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	デザインや整備方法の検討		順次整備の実施		

C. 都心軸沿道バス停等における重点的な環境整備

取組内容	・新しい交通システム（第1段階）の導入に合わせ、都心軸のバス停などを中心として、車両・バス停等を一体的にデザインし、木の文化都市としての近代的な都市空間の形成を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 ・バス停の整備に当たっては、沿道施設の土地利用と連携し、悪天候時でも安心して快適に利用できる待合環境の充実や観光等の案内機能の向上を図ります。				
実施主体	行政、交通事業者（バス）、沿道施設所有者等				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	デザインや整備方法の検討		順次整備の実施		

D. 主要なバス停におけるバス待ち環境の整備

取組内容	・利用者の多い主要なバス停や公共交通重要路線沿線のバス停などでは、待合環境改善のため、スマートバス停やシェルター・ベンチ・案内装置等を計画的に整備・更新します。また、木の文化都市として、ベンチや上屋などには地元産材を利用した、ぬくもりとコミュニケーションが促進される環境を目指します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。				
実施主体	行政、交通事業者（バス）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組内容	順次整備の実施				

A. パーク・アンド・ライド駐車場の整備及び乗継環境の向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 石川中央都市圏の市町と連携し、公共交通重要路線沿線等において、通勤時パーク・アンド・ライド駐車場の整備に向け、商業施設をはじめとした民間事業者への働きかけを継続するとともに、民間駐車場の活用や公設駐車場の整備を検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 パーク・アンド・ライド駐車場に隣接するバス停において、シェルターやベンチ、駐輪場、案内装置等の整備に取り組みます（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス）、駐車場提供者、商業施設				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	新たな駐車場候補地の調査・整備の実施				

B. 利用促進策の充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> パーク・アンド・ライド駐車場の利用者、駐車場提供事業者、交通事業者のいずれにもメリットがあるインセンティブ施策をさらに充実し、利用促進を図ります。 鉄道やバス、シェアサイクルなどの他の公共交通との乗継の円滑化や利用促進に向け、金沢Ma a Sとの連携を進めます。【再掲】 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、商業施設 パーク・アンド・ライド駐車場利用者				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	取組の実施・改善				

C. 通勤時や休日、観光期、年末年始など臨時パーク・アンド・ライドの実施

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの少ない地域であっても、自家用車と組み合わせて公共交通を利用していただけるよう、市民の意識啓発や企業への働きかけを通じて、通勤時及び休日パーク・アンド・ライドの普及や利用促進活動を継続的にを行います。 観光期、年末年始及びイベント時等において、まちなかでの渋滞を防ぎ良好な交通環境を保つために、臨時パーク・アンド・ライドを継続的に実施します。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、民間事業者				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	継続的な取組の実施				

A. パーク・アンド・ライド駐車場の整備及び乗継環境の向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 石川中央都市圏の市町と連携し、公共交通重要路線沿線等において、通勤時パーク・アンド・ライド駐車場の整備に向け、商業施設をはじめとした民間事業者への働きかけを継続するとともに、民間駐車場の活用や公設駐車場の整備を検討します。 パーク・アンド・ライド駐車場に隣接するバス停において、シェルターやベンチ、駐輪場、案内装置等の整備に取り組みます。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス）、駐車場提供者、商業施設				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	新たな駐車場候補地の調査・整備の実施				

B. 利用促進策の充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> パーク・アンド・ライド駐車場の利用者、駐車場提供事業者、交通事業者のいずれにもメリットがあるインセンティブ施策をさらに充実し、利用促進を図ります。 鉄道やバス、シェアサイクルなどの他の公共交通との乗継の円滑化や利用促進に向け、金沢Ma a Sとの連携を進めます。【再掲】 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、商業施設 パーク・アンド・ライド駐車場利用者				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	取組の実施・改善				

C. 通勤時や休日、観光期、年末年始など臨時パーク・アンド・ライドの実施

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの少ない地域であっても、自家用車と組み合わせて公共交通を利用していただけるよう、市民の意識啓発や企業への働きかけを通じて、通勤時及び休日パーク・アンド・ライドの普及や利用促進活動を継続的にを行います。 観光期、年末年始及びイベント時等において、まちなかでの渋滞を防ぎ良好な交通環境を保つために、臨時パーク・アンド・ライドを継続的に実施します。 				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、シェアサイクル）、民間事業者				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	継続的な取組の実施				

高齢者や子ども、障害のある方など、市民の誰もが安全かつ快適に歩ける環境づくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した歩行環境の確保を推進します。また、車両対歩行者、自転車対歩行者事故を減らすために、道路管理者や警察など関係機関と連携し、事故の検証・分析・対策を実施していきます。

A. バス走行環境の充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> バス専用レーンの時間帯拡大、終日化及び合理化に向けた交通実験について、関係機関と検討します。 都心軸を中心に、カラー舗装・LED道路鎮などによるバス専用レーンの明示化や公共交通優先信号（PTPS）の強化、バス専用レーンの遵守に向けたまちなか（国道157号等）での指導・啓発活動を強化します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
実施主体	行政、交通事業者（バス）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組の進捗	社会実験等を通じた取組の充実				

B. 自転車走行環境の充実及び交通安全対策の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 金沢自転車ネットワーク協議会において選定されている自転車ネットワークを対象として、継続的な自転車通行空間の整備を推進します。また、通勤や通学の自転車利用者を考慮し、近隣市町と連携した連続的な広域ネットワークの形成に向け検討、調整を行います。 ヘルメット着用の効果を周知し、自転車利用者への安全な利用を推進します。 自転車事故多発箇所においては、事故原因を分析し、路面表示や看板設置による交通安全対策を実施します。 世代に応じた体系的な交通安全教育を実施するとともに、市民参加による取組を進め、関係機関、団体と連携した交通安全活動を継続的に展開します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組の進捗	順次整備・取組の実施				

C. 歩行環境の充実及び交通安全対策の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備やバリアフリー化などによる歩行者ネットワークの整備を推進します。 車両対歩行者、自転車対歩行者事故の削減を目指し、道路管理者や警察など関係機関と連携し、事故の検証・分析・対策に取り組みます。 電動キックボードなどの新たなパーソナルモビリティの安全利用について、警察との協議や他都市の状況を踏まえ、安全利用啓発を図ります。 世代に応じた体系的な交通安全教育を実施するとともに、市民参加による取組を進め、関係機関、団体と連携した交通安全活動を継続的に展開します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組の進捗	順次整備・取組の実施				

高齢者や子ども、障害のある方など、市民の誰もが安全かつ快適に歩ける環境づくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した歩行環境の確保を推進します。また、車両対歩行者、自転車対歩行者事故を減らすために、道路管理者や警察など関係機関と連携し、事故の検証・分析・対策を実施していきます。

A. バス走行環境の充実

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> バス専用レーンの時間帯拡大、終日化及び合理化に向けた交通実験について、関係機関と検討します。 都心軸を中心に、カラー舗装・LED道路鎮などによるバス専用レーンの明示化や公共交通優先信号（PTPS）の強化、バス専用レーンの遵守に向けたまちなか（国道157号等）での指導・啓発活動を強化します。 				
実施主体	行政、交通事業者（バス）				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組の進捗	社会実験等を通じた取組の充実				

B. 自転車走行環境の充実及び交通安全対策の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 金沢自転車ネットワーク協議会において選定されている自転車ネットワークを対象として、継続的な自転車通行空間の整備を推進します。また、通勤や通学の自転車利用者を考慮し、近隣市町と連携した連続的な広域ネットワークの形成に向け検討、調整を行います。 ヘルメット着用の効果を周知し、自転車利用者への安全な利用を推進します。 自転車事故多発箇所においては、事故原因を分析し、路面表示や看板設置による交通安全対策を実施します。 世代に応じた体系的な交通安全教育を実施するとともに、市民参加による取組を進め、関係機関、団体と連携した交通安全活動を継続的に展開します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組の進捗	順次整備・取組の実施				

C. 歩行環境の充実及び交通安全対策の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備やバリアフリー化などによる歩行者ネットワークの整備を推進します。 車両対歩行者、自転車対歩行者事故の削減を目指し、道路管理者や警察など関係機関と連携し、事故の検証・分析・対策に取り組みます。 電動キックボードなどの新たなパーソナルモビリティの安全利用について、警察との協議や他都市の状況を踏まえ、安全利用啓発を図ります。 世代に応じた体系的な交通安全教育を実施するとともに、市民参加による取組を進め、関係機関、団体と連携した交通安全活動を継続的に展開します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
取組の進捗	順次整備・取組の実施				

A. 自転車走行環境の充実【再掲】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢自転車ネットワーク協議会において選定されている自転車ネットワークを対象として、継続的な自転車通行空間整備を推進します。また、通勤や通学の自転車利用者を考慮し、近隣市町と連携した連続的な広域ネットワークの形成に向け検討、調整を行います。 ・自転車事故多発箇所においては、事故原因を分析し、路面標示や看板設置による交通安全対策を実施します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	順次整備の実施				

B. 便利で使いやすい駐輪環境の創出

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪需要に応じた利用時間の弾力運用や駐輪場への適切な案内の充実、防犯カメラの設置促進やLED照明への更新等により、駐輪場の利用環境の向上を図ります。 ・長期駐輪及び路上放置対策を強化するほか、自転車等放置禁止区域拡大や駐輪場附置義務等について検討します。 ・サイクル・アンド・ライドを促進するとともに、観光地周辺等においては、駐輪需要に応じた駐輪場の整備や臨時駐輪場の設置について検討します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	順次、整備や取組の実施・充実				

C. 自転車のルールの遵守・マナーの向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの交通安全教育のポイントを整理したプログラムを確立し、切れ目のないルール・マナー教育を実施します。 ・関係団体との連携による街頭指導の実施や自転車の定期的な点検の必要性などについて周知します。 ・自転車損害賠償保険の加入及びヘルメット着用の必要性を周知、啓発し、保険への加入やヘルメットの着用を促進します。 				
実施主体	行政、街頭交通推進隊、地元町会、市PTA、自転車安全利用促進事業連携企業・団体				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	取組の実施・充実				

A. 自転車走行環境の充実【再掲】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢自転車ネットワーク協議会において選定されている自転車ネットワークを対象として、継続的な自転車通行空間整備を推進します。また、通勤や通学の自転車利用者を考慮し、近隣市町と連携した連続的な広域ネットワークの形成に向け検討、調整を行います。 ・自転車事故多発箇所においては、事故原因を分析し、路面標示や看板設置による交通安全対策を実施します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	順次整備の実施				

B. 便利で使いやすい駐輪環境の創出

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪需要に応じた利用時間の弾力運用や駐輪場への適切な案内の充実、防犯カメラの設置促進やLED照明への更新等により、駐輪場の利用環境の向上を図ります。 ・長期駐輪及び路上放置対策を強化するほか、自転車等放置禁止区域拡大や駐輪場附置義務等について検討します。 ・サイクル・アンド・ライドを促進するとともに、観光地周辺等においては、駐輪需要に応じた駐輪場の整備や臨時駐輪場の設置について検討します。 				
実施主体	行政				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	順次、整備や取組の実施・充実				

C. 自転車のルールの遵守・マナーの向上

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの交通安全教育のポイントを整理したプログラムを確立し、切れ目のないルール・マナー教育を実施します。 ・関係団体との連携による街頭指導の実施や自転車の定期的な点検の必要性などについて周知します。 ・自転車損害賠償保険の加入及びヘルメット着用の必要性を周知、啓発し、保険への加入やヘルメットの着用を促進します。 				
実施主体	行政、街頭交通推進隊、地元町会、市PTA、自転車安全利用促進事業連携企業・団体				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の進捗	取組の実施・充実				

4- (3) 金沢ふらっとバスの利便性向上

■ 現況・課題

金沢ふらっとバスは、まちなかに存在していた公共交通空白地域・不便地域の解消を図るとともに、まちなかの活性化につなげることを目的に導入されており、特に高齢者の移動に必要な不可欠な移動手段として地域に根付いています。

一方で、運行開始から20年以上が経過した現在、運行事業者における運転手不足や、車両の老朽化など、運行を取り巻く環境は大きな変化を見せており、今後も持続可能な運行を継続するための取組が必要となっています。

このため、令和3年度よりキャッシュレスシステムやバスの位置情報を提供するシステムを導入するなど、利便性の向上に取り組んできました。

今後、さらなる利便性向上のための取組を展開し、金沢ふらっとバスの利用促進を図ることが必要となっています。

■ 金沢ふらっとバス回数券のデジタル化



■ 方針・具体的取組

金沢ふらっとバスは、高齢化が進むまちなかの交通不便地域の生活を支える交通手段であるとともに、「都市の装置」の一部として、他の公共交通機関とのネットワークにより、来訪者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図るために、将来も維持すべき貴重な生活バス路線です。そのため、利用実態や路線沿線の住民の意識等を定期的に調査・把握するとともに、金沢Ma a Sの取組と連携した利便性向上や利用促進を図ります。

A. 利用者ニーズに応じた運行の実施

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズを踏まえながら、バス運転手の高齢化や新規採用者の減少等による担い手不足や運転手の労働条件に配慮した運行を実施します。 利用者の利便性向上や利用促進に向け、金沢Ma a Sと連携したデジタル回数券の拡充などの取組を推進します（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 都心軸上の商業施設との連携や、金沢ふらっとバス以外の交通手段との連携により、中心市街地における利用者の回遊性を向上させる施策を展開します。 				
	行政、交通事業者（バス）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
継続的な見直し・改善	➡				

4- (3) 金沢ふらっとバスの利便性向上

■ 現況・課題

金沢ふらっとバスは、まちなかに存在していた公共交通空白地域・不便地域の解消を図るとともに、まちなかの活性化につなげることを目的に導入されており、特に高齢者の移動に必要な不可欠な移動手段として地域に根付いています。

一方で、運行開始から20年以上が経過した現在、運行事業者における運転手不足や、車両の老朽化など、運行を取り巻く環境は大きな変化を見せており、今後も持続可能な運行を継続するための取組が必要となっています。

このため、令和3年度よりキャッシュレスシステムやバスの位置情報を提供するシステムを導入するなど、利便性の向上に取り組んできました。

今後、さらなる利便性向上のための取組を展開し、金沢ふらっとバスの利用促進を図ることが必要となっています。

■ 金沢ふらっとバス回数券のデジタル化



■ 方針・具体的取組

金沢ふらっとバスは、高齢化が進むまちなかの交通不便地域の生活を支える交通手段であるとともに、「都市の装置」の一部として、他の公共交通機関とのネットワークにより、来訪者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図るために、将来も維持すべき貴重な生活バス路線です。そのため、利用実態や路線沿線の住民の意識等を定期的に調査・把握するとともに、金沢Ma a Sの取組と連携した利便性向上や利用促進を図ります。

A. 利用者ニーズに応じた運行の実施

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズを踏まえながら、バス運転手の高齢化や新規採用者の減少等による担い手不足や運転手の労働条件に配慮した運行を実施します。 利用者の利便性向上や利用促進に向け、金沢Ma a Sと連携したデジタル回数券の拡充などの取組を推進します。 都心軸上の商業施設との連携や、金沢ふらっとバス以外の交通手段との連携により、中心市街地における利用者の回遊性を向上させる施策を展開します。 				
	行政、交通事業者（バス）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
継続的な見直し・改善	➡				

A. まちなかの通過交通の抑制

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 山側幹線の4車線化や海側幹線IV期区間の4車線化及び本線部整備を推進します。【再掲】 公共交通利用環境や歩行環境の向上のため、まちなかの通過交通や自家用車等の乗り入れを抑制する方策を検討・実施します。 多様な情報提供による交通モードの転換を図ります（地域公共交通利便増進事業の活用を想定）。 				
	実施主体 行政				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	道路整備などの実施 自家用車等の乗り入れ抑制方策の検討				

B. 中心地の魅力向上と併せた公共交通利用促進策の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用促進とともにまちなかの活性化を促すため、中心商店街と連携し、「お帰り乗車券」の取扱店を拡充します。 バス専用レーンの時間帯拡大・終日化に向け関係機関と協議します。【再掲】 パーク・アンド・ライド駐車場の拡大及び利用促進により、公共交通の利用へ誘導を図ります。【再掲】 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス）、中心商店街				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	商店街との連携強化・取組の拡充 社会実験を通じた取組の充実				

A. まちなかの通過交通の抑制

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 山側幹線の4車線化や海側幹線IV期区間の4車線化及び本線部整備を推進します。【再掲】 公共交通利用環境や歩行環境の向上のため、まちなかの通過交通や自家用車等の乗り入れを抑制する方策を検討・実施します。 多様な情報提供による交通モードの転換を図ります。 				
	実施主体 行政				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	道路整備などの実施 自家用車等の乗り入れ抑制方策の検討				

B. 中心地の魅力向上と併せた公共交通利用促進策の推進

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用促進とともにまちなかの活性化を促すため、中心商店街と連携し、「お帰り乗車券」の取扱店を拡充します。 バス専用レーンの時間帯拡大・終日化に向け関係機関と協議します。【再掲】 パーク・アンド・ライド駐車場の拡大及び利用促進により、公共交通の利用へ誘導を図ります。【再掲】 				
	実施主体 行政、交通事業者（鉄道、バス）、中心商店街				
実施スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	商店街との連携強化・取組の拡充 社会実験を通じた取組の充実				

A. 交通環境学習（モビリティマネジメント教育）の推進

取組内容	・幅広い世代を対象に、それぞれのライフステージに応じたモビリティマネジメント教育を継続して実施します。				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル） 各種団体・企業、市民				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の実施・充実	→				

B. 環境に配慮した車両・施設の導入

取組内容	・バスのEV化や連節バスなどの環境に配慮した車両の導入、公共シェアサイクル「まちのり」の再生可能エネルギーの活用について検討します（ 地域公共交通利便増進事業の活用を想定 ）。				
実施主体	行政、交通事業者（バス、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の実施・充実	→ 連節バスや車両更新に併せ導入				

C. 交通まちづくりを考える機会の創出

取組内容	・交通に関するイベントを多様な団体と連携することにより、交通まちづくりを考える機会を創出します。				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル） 各種団体・企業、市民				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の実施・充実	→				

A. 交通環境学習（モビリティマネジメント教育）の推進

取組内容	・幅広い世代を対象に、それぞれのライフステージに応じたモビリティマネジメント教育を継続して実施します。				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル） 各種団体・企業、市民				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の実施・充実	→				

B. 環境に配慮した車両・施設の導入

取組内容	・バスのEV化や連節バスなどの環境に配慮した車両の導入、公共シェアサイクル「まちのり」の再生可能エネルギーの活用について検討します。				
実施主体	行政、交通事業者（バス、シェアサイクル）				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の実施・充実	→ 連節バスや車両更新に併せ導入				

C. 交通まちづくりを考える機会の創出

取組内容	・交通に関するイベントを多様な団体と連携することにより、交通まちづくりを考える機会を創出します。				
実施主体	行政、交通事業者（鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル） 各種団体・企業、市民				
実施スケジュール	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
取組の実施・充実	→				